

展示会でランウェアショー

TSIのゴルフ「ピンアパレル」選手をモデルに起用

TSIはゴルフブランド「ピンアパレル」の23年春夏展示会で、ファッションショーを披露した。元サッカー選手の鈴木啓太氏や、アメリカンフットボール選手の中村輝晃クラーク氏ら

をモデルに起用した。

同ブランドは、22年秋冬よりAR（拡張現実）技術を活用した試着体験など、販促のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を進めているが、



リアルな着こなしを見せた「ピンアパレル」のショー

「リアルな人間でイメージを伝えることも必要。バイヤーに対して、コーディネートでの売り方を具体的に提案したかった」（田中幹ピンアパレルセクション長）と、ショーの開催に踏み切った。モデルにサッカー、アメフト、ダンスなど異なるスポーツに関わる人を起用し、多様な体形に合わせた着こなしを見せた。

ゴルフ人気が高まる中でも、敷居の高さをまだ感じている人に親しみを持ってもらう意図も込めた。多くの人にゴルフをコンテンツとして楽しんでもらうため、ショーの動画配信も実施。「例えば、ゴルフをしてからみんなでキャンプをして過ごすのもいい。レジャーの選択肢

の一つにするため、他の遊びにも着まわせるウェアを充実させた」

ショーで見せた、23年春夏のテーマは「プレイ・ユア・ベスト」。様々なゴルフの楽しみ方に対応するため、ファッション性と着回しにこだわった「ネイティブライン」と、競技性を追求する「プレーヤーに向けた「パフォーマンススライン」の2軸で打ち出す。

ネイティブラインでは、「ピンゴルフ」の創業地のアリゾナをイメージした、カラフルなウェアを揃える。カレッジプリントのTシャツや、近年増えてきたカジュアルなゴルフ場向けのショートパンツなどを提案する。

パフォーマンスラインは、モノトーンをベースにオリーブ、ネオンカラーを差し色にしたシックなデザイン。軽量でストレッチ性が高い機能素材「バリアンテック」で作ったブルゾンなどを打ち出す。